

# 『名所江戸百景』にみる筑波山

中島 礼<sup>1)</sup>・都井美穂<sup>2)</sup>

※本稿は地質標本館春の特別展「関東平野と筑波山」のパフレット(中島ほか, 2018)の一部を転載及び改変したものです。

『名所江戸百景』は、江戸時代の浮世絵師歌川広重によって安政3年から5年(1856～1858年)にかけて描かれた作品です。“百景”といっても全部で119景もあり、江戸の名所や当時の人々の生活の様子とともに、遠景には富士山や筑波山、日光連山などが美しく描かれています。ここでは、筑波山の双峰が描かれた12景を紹介します。江戸時代には、今よりも筑波山がはっきりと見えていたことでしょう。もちろん今でも東京からは天気が良ければ筑波山が見えます。12地点の近くの高層ビルに登る機会があれば、現在と江戸時代の約160年の景色の違いを楽しむことができ面白いでしょう。

錦絵画像は国立国会図書館ウェブサイトから転載。  
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1304658> (2018年4月25日 確認)



1 おうじいなり もり  
**王子稲荷の杜**  
 王子稲荷神社  
 北区岸町一丁目 12-26



2 あすかやまきた ちようぼう  
**飛鳥山北の眺望**  
 飛鳥山よりJR王子駅方面を望む  
 北区王子一丁目



12 みなみしながわさめず かいがん  
**南品川・品川海岸**  
 勝島運河  
 品川区東大井二丁目



作品が描かれた場所は小池・池田(2017)に基づく

1) 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門 2) 産総研 地質調査総合センター 地質情報基盤センター



3 日暮里諏訪の台  
諏訪台  
荒川区日暮里三丁目 6-4



4 すみだがわすいじん もりまつきき  
隅田川水神の森真崎  
隅田川神社  
墨田区堤通二丁目 17-1



5 まつききあたり すいじん もりうちかわせき や  
真崎辺より水神の森内川関屋の  
里を見る図  
真崎稻荷神社  
荒川区南千住三丁目 28-58



6 すみだがわほしほ わなし がま  
隅田河橋場の渡かわら竈  
白髪橋付近  
台東区橋場二丁目



7 葉葉もみしてこな ゆしるつぎ  
真間の紅葉手古那の社継はし  
弘法寺境内から手児奈霊神堂を望む  
千葉県市川市真間四丁目 9-1



8 やなぎ  
柳しま  
横十間川岸から柳島橋を望む  
江東区亀戸三丁目



9 りょうこくせんちゅうあさくさえんけい  
両国船中浅草遠景  
両国橋から柳橋付近を望む  
中央区日本橋二丁目



10 さかさ い  
逆井のわたし  
逆井橋  
江東区亀戸九丁目



11 ふかがわ すざきじゅうまんづぼ  
深川州崎十万坪  
深川から筑波山を望む  
江東区東陽六丁目

### 参考文献

- 堀 晃明 (1996) 広重の大江戸名所百景散歩—江戸切絵図で歩く. 人文社, 160p.  
 小池満紀子・池田美英 (2017) 広重 TOKYO 名所江戸百景. 講談社, 264p.  
 中島 礼・藤原 治・宮地良典・都井美穂 (2018) 関東平野と筑波山 関東平野の深い地質のお話. 産総研 地質調査  
 総合センター 研究関連普及出版物, no. 108, G75082.